



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年1月29日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

不正融資と闘う男性のいま

29日(日)＝1、3面



投資不動産のシェアハウスのオーナーになったものの、家賃収入はなく、残ったのは巨額の借金だけ、という状況から立ち上がった男性がいます。この男性は企業の部長職としてそれなりの給与は手にしていたのですが、

子どもの学費や老後資金を考えてシェアハウスを購入しました。全額をスルガ銀行から借りることが条件でした。一方スルガ銀行は、購入希望者の預金を多く見せるなどの不正も行っていましたが、生活を取り戻すため

に、男性は同じ境遇の仲間と共に活動しました＝写真。弁護士のカも借りて銀行と闘い、借金は帳消しとなりました。その後も男性は詐欺などに遭った人を支援する活動を続けています。不正融資と闘う男性の姿に迫ります。

都の太陽光パネル設置義務化を考える

2月3日(金)＝オピニオン面

温室効果ガス削減を目指し、東京都が2025年度から全国で初めて新築戸建て住宅への太陽光パネル設置義務化に踏み切ることになりました。家庭の気候変動対策につながるとの期待がある一方、負担増やパネルのり

サイクル処理を懸念する声も上がっています。グリーンピース・ジャパンの鈴木かずえ氏＝写真左上＝、常葉大名誉教授の山本隆三氏＝写真右＝、法政大名誉教授の田中充氏＝写真左下＝に聞きました。



見えない
予算

雇用調整助成金終了

不正受給の背景は

新型コロナウイルスの感染拡大で、企業が従業員に支払った休業手当を国が補助する雇用調整助成金の特例措置が1月31日で終了します。助成額の上限や助成率を引き上げましたが、これまでに不正

受給額は187億円に上っています。社会保険労務士が助言したケースがあるなど、不正の一端が浮かび上がりつつあります。不正の背景事情や特例措置の問題点などを報告します。

2月1日(水)＝1、2面

特集 ワイド

渡辺謙さん「平和」への思い

31日(火)＝夕刊特集ワイド

ロシアがウクライナに軍事侵攻した2022年2月、俳優の渡辺謙さん＝写真＝はハリウッド長編映画のロケでタイの奥地にいました。くしくも映画の戦闘シーンの撮影初日でした。「演技に入り込むほど、ウクライ

ナ情勢が気になった。現実には起きた戦闘にショックを受けながら、フィクションを演じることがむなしかった」と言います。侵攻からまもなく1年。渡辺さんに俳優業と平和への思いを聞きました。



竹橋の窓辺から

編集後記

毎日新聞社は創刊150周年の事業として「毎日共生会議2022」と題し、共生社会をテーマにしたオンライントークイベントを開催中です。2月9日はその3回目、「外来生物は地球環境異変の写し鏡」今から目指すべき自然共生社会とは？」を開催します。自然環境を次世代になぐため何をするべきなのか……。人間も地球の一員なので、考えてみようと思えます。視聴無料です。ぜひご覧ください。(小野田香織)

